
サバサバ先輩の
夜の顔

「須堂エリカ」
会社の先輩。



サバサバしていて上司の
セクハラも軽く受け流す。


いつも明るくて
細かいことは気にしない。
さ～て…
今日も頑張るわよ！
先輩のおかげで社内は
いつもいい雰囲気だ。


須堂さん
すみません…
大丈夫
私が手伝って
あげるから
ちゃっちゃと
終わらせるわよ
はい！
そのうえ仕事もできて
皆から頼りにされる存在。


そんな彼女だが
ねえ、まだ終わらないの？
あともう少しで…
私に言ってくれれば手伝ったのに…
なんか忙しそうだったんで…
俺は大丈夫ですから須堂さんは先に…
夜、二人っきりになると…


だけど
森田君も早く
終わった方が
いいでしょ？
そうですけど…
もう他の人たち
帰っちゃってますし
須堂さんだけ残ってて
もらうのも悪いですから…
またそうやって
焦らすんだから…
え、なんですか？
もう！いいから貸して！
私がすぐ終わらせるから！


今日はすごく急いでますね
早く入って！誰かに見られたら…
いや、誰もいませんけどキョロキョロ
いいから！
ガチャ


ふっ♥
んんう♥
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
んあっ♥
んっ♥
バク-!...

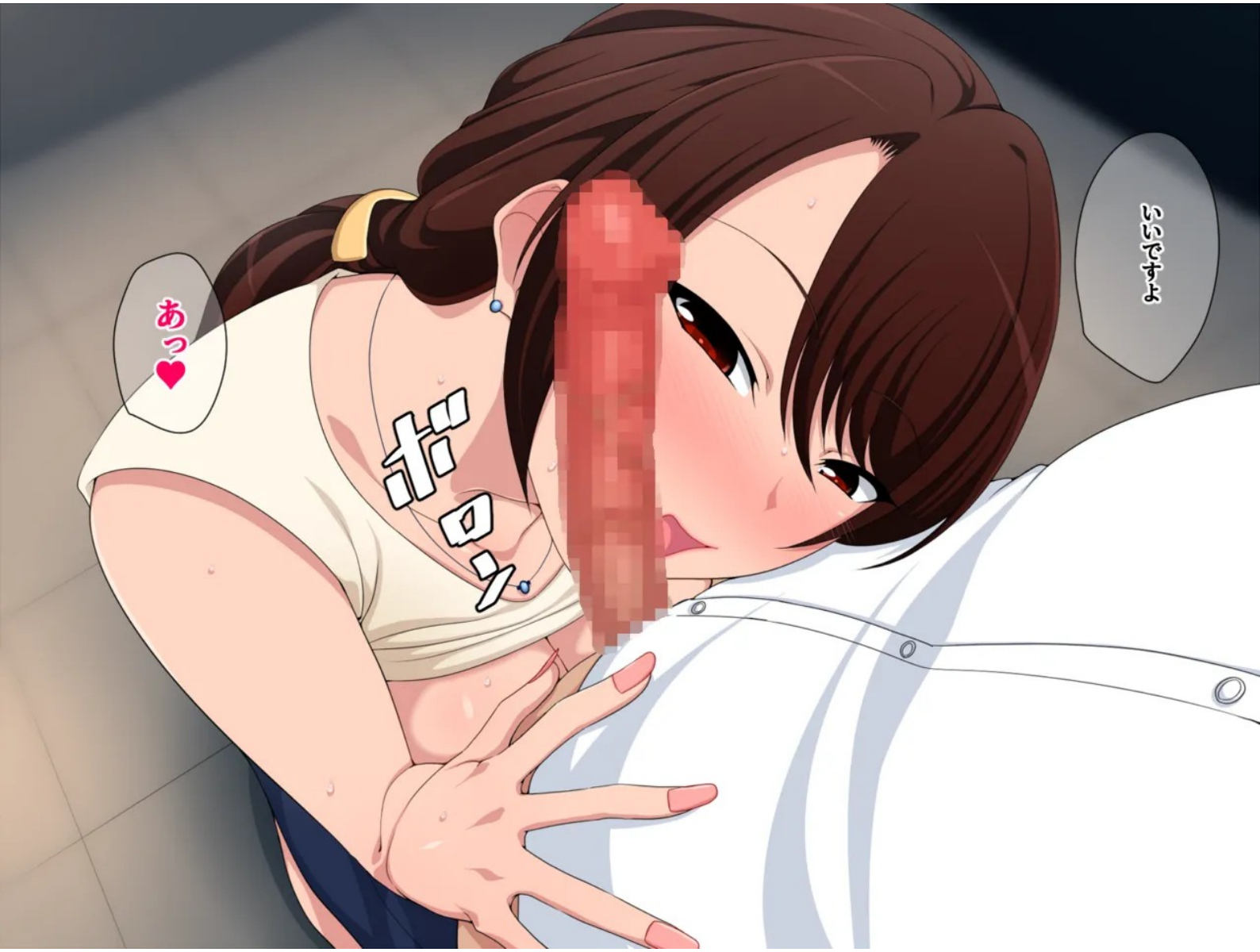

…エリカさん
もう、焦らしすぎよ♥
はぁ…
はぁ…
すみません…
いじいじしてる
エリカさんが可愛くて
ホント…
しょうがないんだから♥
スル…


ほら、もっと舌出して…
んあ…♥
ちゅ
ぷっ
あん♥
焦らした分しっかりと…
分かってますよ


エリカさん！
んあっ♥
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
あん♥もっと…
もっとお♥
もみっ
もみっ
もみっ


俺だけが知っている
ジットリとした
彼女の表情。
エリカさん…うっ！
もうこんなに…♥


ねえ…早く♥
はあ…♥
はあ…♥
意地悪しないで♥
スリ～♥
スリ～♥


いいですよ
あっ♥
ボロン


んぅ…♥
ああぁ…！
ぺろぺろ…♥


うっ！
今日は一段と
激しい…！
あなたが
焦らすからよ♥
んっ♥
ふっ♥
ふっ♥
じゅるっ♥
ぐぽっ♥
じゅぽっ♥
じゅるっ♥
ぐぽっ♥
じゅぽっ♥
エリカさん…！
んふふ♥
我慢しないで
いっぱい出して♥
あぁぁ…！


んんっ♥
ああっ！出るっ！


ああっ！
そ、そんな
吸われると…！
ふ――っ♥
しっかり
出さないとダメよ♥
ちゅっ
ちゅっ
レロ～
ビクビク…
ふ――っ♥
で、でも…あああっ！
ジュルルル
レロ～
ビクンビクン
んふふ…
ほら、もっと♥


ねぇ…もう♥
はぁ——♥
まずはベッドまで行かないと…
はぁ——♥
次はこっちの番なんですから
ちゅ♥
ちゅ♥
ドッ…ン♥
ドッ…ン
ドッ…ン


そういうのはド～ンと
構えていれば大丈夫！
いちいち緊張して
恥ずかしがってたら
仕事にならないわよ？


ほら、着きましたよ
あぁん♥
ゴロ…


はぁ…♥
はぁ…♥
あっ…ダメ
恥ずかしい♥
今更何が
恥ずかしいんですか…
毎晩こんなに
濡らしているのに
だってぇ…♥
トロ…♥


あっ♥
あっ♥
ああっ♥
どんどん溢れてきますよ？
ちょっと…あっ♥
ダメぇ♥
音もすごい…
はっ♥ああっ♥
やっ…♥んんぅ♥
ぴちゃっ♥
ぴちゃっ♥
ぴちゃっ♥
レロ〜
レロ〜
レロ〜


ビク
ビクン
じゅるるるっ
ビクン
ん♥
ふっ♥
あぁっ…もう♥
ビク
んんんんんんっ♥


んっ…♥
ふーっ♥
んちっ…♥
ねえ…
ふーっ♥
もう本当に…
お願い…♥
だーめ♥
くぱっ
くぱっ


はっ♥
はっ♥
ドキン
ドキン
ビクン
分かってますって
ああん♥


あっ♥
ズポ」
ズポ」
ズポ」
ズポ…」
んう♥
はあっ♥
ちゅ♥
ちゅ♥
ちゅっ♥
あぁぁん♥


ズン
ズン
ズン
ズプ
ズン
エリカさん！
ああん♥深い♥
膣奥気持ちいい♥
好きっ♥好きぃ♥
ドン
ドン
ドン
今日もいっぱい
膣奥にいきますよ！
レロン
レロン
んっ♥
ふっ♥
ふっ♥
うん♥きて♥
きてきてぇ♥
膣中にいっぱい…
いっぱいちょうだい♥


ああっ！
エリカさん！
んああっ♥深っ♥
イクっ♥あああ…♥
ビクン
ビクビク
ビクッ
ビクン
あぁんっ♥


はっ♥はぁ…♥
ぐっ…♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
ちゅっ♥
んっ…♥
んっ…♥
んっ♥んぅう…♥
ドッ…♥
ドッ…♥
ドッ…♥
ドクン
ドクン

はぁ…♥
はぁ…♥
すごい♥
溢れちゃってる♥
いっぱい出たわね♥
ドロ…♥


んっ♥ああっ♥
本当いいところにズッポリ当たって…
あっ♥
んっ♥
ああっ♥
気持ち…いいっ♥
ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!
ズッ!!
たんっ
たんっ♥


エリカさん…
んんっ♥はあっ♥
ああっ♥ダメぇ♥
んっ♥蕩けちゃう♥
あっ♥
んんう♥ぇぁ♥
あっ♥
んあ♥
ちゅっ♡
ちゅっ♡
ちゅっ♡
レロ♡
レロ♡
ズプ♡
ズプ♡
パン♡
パン♡
パン♡
パン♡


こうするともっと
トロトロですよ！
ああん♥
ちょっとぉ…
ダメだからぁ♥
ほら、エリカさん
腰が止まってますよ！
一緒に振りましょう
あっ♥
はっ♥
あぁん♥もう♥
もうおおぉ♥
あっ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥
ズッ♥


ああん♥もっ…もうダメぇ…♥
エリカさん！一緒に…っ！
あっ♥
あぁ♥
あぁんっ♥
イクイクぅ♥あぁあっ♥♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ズ
ン


少し休みますか？
グッ…
はあ…
あぁん♥
もっと…
もっとしたい♥
はあ…♥
おち○ちんこんなに
カチカチなんだもの…
二人でもっといっぱい
気持ちよくなりたい♥
グッ…


エリカさん
本当にキス
好きですよね
しっかり掴まってて
ください！
んっ♥ああっ♥
好きっ♥大好きっ♥
あっ♥ああん♥
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
んっ♥
んあっ♥
あっ♥
だってぇ…すると
すっごく幸せなんだもの♥
じゃあ、もっと
しないとですね！
んっ♥んぅ♥
きてぇ…♥
ズプ♥
ズプ♥


ビュルルルッ♥
ビュッビュッ♥
イキますよ！
んあぅ♥きてっ♥
あったかいの…
いっぱい♥
あっ♥
あぁ♥
あぁ♥あぁ♥イクッ♥
あぁ♥あぁ♥あっ♥
ビクン
ビクン
ぐっ…♥


ドプ…♥
ふっ♥んふぅ♥
んんぅ♥んっ♥
ドクン♥
ドクン♥
ドクン♥
ん…♥
ふぅ…♥
ふっ…♥
ちゅ♥ちゅ♥
あぁ…幸せ♥


職場でのサバサバしている
須堂さんも素敵だけれど…
大きいと
それはそれで
大変なのよ？
え～そう
なんですか？
そういう
ものなのよ
須堂さんって
本当にスタイル
いいですよね…
特に胸とか…
うらやましいなぁ


今こうして目の前で
恥じらっているエリカさんは
もっと素敵だ。
こんな彼女を独り占めできる
なんて本当に幸せだ。
やっぱりこれは
何度やっても
恥ずかしいわね…
んっ…♥
こんなのエリカさんにしか
出来ないですよ…
俺の隠れちゃってますもん
そう言われると
余計に恥ずかしく
なるんだけれど…
たぷっ♡
むっ♡
むにっ♡
たぷん♡


でも喜んでもらえるから私も楽しいんだけどね…♥
ああっ！ずっしり重量感があって…最高です！
あっ♥
んっ♥
んっ♥
ちょっと…褒めてるようには聞こえないんだけど？
別に太ってるとかそういう意味じゃ…
もう！ほらイキなさい♥
あああっ！
だぷっ♥
ずちゅ♥
だぷっ♥
ずぷ♥
ずちゅ♥
だぷんっ♥


あんっ♥
あっ♥
胸の中にドクドクって…
いっぱい感じる♥
ドクン♥
ドクン♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ドクン♥
ビクッ


こんなに出して…
おっぱいがドロドロ…♥
あっ…♥
ドロ〜〜〜…
なのにまだ物足りなさそうにピクピクさせて…♥
ピク
ピク


ホントにしょうがないんだから♥
今度はこっちでしっかりと…
もう…♥
搾り取ってあげる♥
くちゅ
くちゅ
にゅ
にゅ


すればするほど
どんどんカチカチに
させて…
あっ♥
あっ♥
もうイっちゃい
そうなの？
ああっ！
ちょっ…まっ！
ダ～メ♥
待たないわよ♥
にちゅ♥
にちゅ♥
にちゅ♥
にちゅ♥
にゅぷ♥
にゅぷ♥


ちょっと
ちが…っ！
何が違うの？
ほら、出しなさい♥
あああっ！
わぁっ♥
ビクン
ビクン


す、すみません…
思いっきり
ぶっかけちゃって
こっちこそ…
まさか潮吹くなんて
思わないから
あっ…♥
びっくりしちゃった♥


でもすごく
気持ちよかったですよ
エリカさんも
どうです？
あっ♥
ちょっとお…♥
ヌチュ♥


いっぱい汚しちゃったんで俺がキレイにしますね
あっ♥ダメっ♥後でいいからぁ…♥
ダメですじっとしてください
あっ…もう♥きちゃう…きちゃうからぁ♥
ホントに…もうっ♥
あっ♥
はっ♥
はっ♥
ドッ♥
ドッ♥
ドッ♥
むにゅ♥
むにゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥
くちゅ♥


イってもいいですよ
エリカさん…
ああっ♥もうっ♥
イクっ♥
イ…
ビクン
ビクン
ビクン
ビクン
ああああ〜〜〜っ♥


はぁ…はぁ…♥
やっ…やだぁ♥
あっ…♥
ああ…♥
ああっ♥ダメっ♥
止まらな…ああぁ♥
おぉ…
もうそんな
見ないでぇ…♥
ジョロロロ…


気持ちよかったですか？
あんなに潮吹いてお漏らしまでして…気持ちよくないわけないでしょう♥
良かったぁ…もっとします？
ふ――…♥
ふ――…♥
もうこれ以上してたら体が火照っちゃってしょうがないから…
お風呂に入ってる意味なくなっちゃうでしょ♥
ドッミ
ドッミ
ドッミ
ドッミ
ダラァ…


気持ちは
分かるけど…
大人なんだから
気持ちを抑えて
我慢しないと…
普段は後輩たちに
こう言っている
エリカさんだけれど…


ベッドまで
我慢できないんですか？
だってぇ…♥
あっ
ちゅっ
ちゅっ
ちゅっ
あなたがあの後も
いっぱいイカせるからぁ♥
スプププ…♥


ベッドに行く前に疲れちゃいますよ？
もう我慢できないのヘトヘトになるくらいいっぱい♥いっぱい♥イカせてぇ♥
分かりました…っ！
ああっ♥激しい♥もっと…もっとぉ♥パンパンしてぇ♥


あぁん♥いいっ♥
すごいのキてる♥
このままイカせて♥
あっ
はっ
あぁっ♥♥
イクっ♥イクイクっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ


んぅ…っ♥
ドッ
ドッ
ちゅ…
ちゅ…
ぎゅ
ぎゅ
ヌチ…
ヌチ…
ん…
ん…
んんぅ…♥
ふぅぅ…♥
ドッ
ドッ
ドッ


やっと到着～っ！
やぁん♥
さぁ、これからですよ
あっ♥
ぎゅっ♥
ぐっ♥
ぐっ♥
ドサッ……


エリカさん
今日は一段とま○こが
イキやすいですね
朝からエッチする
ことばかり考えちゃって…
仕事中もおま○こ
疼いてどうしようも
なかったの♥
いつもあなたが
気持ちよくしてくれるからぁ♥
そればっかり
期待しちゃって…
だから…だからぁ♥
おま○こ
メチャクチャにしてぇ♥
ドッ
ドッ
ドッ
ズン
ズン
ズプ
ズッ
ズオ
ドッ
あんっ
あっ♥
あ♥
レロォ♥
レロ♥
レロ♥


エリカさん！
イって！イケっ！
ああん♥深いぃぃ♥
んんぅ♥ううぅっ♥
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
ビクッ
イクっ♥
イクっ♥
イクっ♥
んあっ
あっ
あああ♥


ああ…ダメっ♥
また…また出ちゃ…
ズッ…ポォン
ヒクヒクっ♥
はっ♥
はあっ♥
あっ♥
ぎゅうううう♥


まだ終わりじゃないですよ
あっ…♥
…まだイったばかりだから…
間髪入れずにやった方がもっと気持ちいいんですから
ぐっ…
くちゅ♥
くちゅ♥


こんな風に…っ！
あぁん♥もっ…♥ただでさえすぐにイっちゃうのにぃ…♥
はあ♥
あっ♥
はあ♥
いいじゃないですかいっぱいイケますよ！
そうだけど…あっ♥
もうっ♥そんなちょうど気持ちいいところばかり当てられると…っ♥
ぎゅっ♥
ぎゅっ♥
むっ♥
むぎゅ♥
トッ♥
トッ♥
トッ♥
ズプ♥
ズプ♥
ズッ♥
ズプ♥
ズプ♥
ズッ♥


ああっ♥もうっ♥絶対っ♥絶対イくぅ♥
はっ♥
あっ♥
もっと♥もっとして♥おま○こ壊れちゃうくらいいっぱい♥いっぱいぃ♥
ああっ♥
はっ♥
あっ♥
あああぁぁああっ♥好きっ♥好き好き好き…大好きぃぃ♥
ドッ
ドッ
ドッ
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズン
ズプ
ズプ




あぁぁ…
もう…ダメ♥
まだまだ
これからなのに
ぬぷ♥
ぬぷ♥
ドサッ…
あんなのされたら
気持ちよすぎて
起きてられないわよ♥


じゃあこのまま
しちゃいますね
ああっ♥すごっ♥
そこ…グイグイ
気持ちいい♥
ここですね…
任せてください！
ドッ
ドッ
ドッ
ズプ
ズッ
ズッ
ズプ
ズプ
んっ♥
んっ♥
はっ♥
あっ♥
いいっ♥もっと♥
いっぱいおま○こ
押し潰してぇ♥


ああっ♥いいっ♥きてっ♥きてぇ♥
イクっ♥イクイクっ♥
ああっ
あっ
あっ
んあぁぁっ♥


んっ♥はぁぁ…♥
膣奥っ♥んんう♥
気持ちっ…いいのっ♥
はあ…♥
はあ…♥
止まらない…♥
ドクン…
ドッ…
ドッ…
ドク…ン
ドプ…


んぁぁ…あっ♥
ブビビビビビ～～～…
わぁ…すごい音
もう！膣奥までたっぷり出すから…
ヒクヒク
ヒクヒク
ヒクヒク…♥
は――…♥
は――…♥
でも気持ちよかったでしょ？
もう最高よ♥


エリカさん…
んぅ？なぁに♥
もう朝なんですけど…
んっ…♥
んっ…♥
ちゅ♥
ちゅ♥
レロ♥
レロ♥
もうちょっとらけ…♥


そう言ってもう何回目…
ううっ！
あんっ♥
んっ♥
ふっ♥
ビンッ♥
ビュルッ♥
ビュビュ♥
まだこんなに♥


どんどん出てくる…♥
あああっ！それ…ダメですって！
もう口の中でおっきくさせちゃってやる気満々じゃない♥
んっ…♥
んっ…♥
ぢゅる♥ぢゅる♥
ぢゅるるる～～～♥
ドクン
ドクン
ドクン
その吸い方がもう勃たせようとしてるじゃないですか…
だ、だってぇ…
私のせいなの～？


はぁ…はぁ…っ！
あん♥
すごいことに
なってるじゃない♥
で、どうするの？
ふ――っ♥
ふ――っ♥
ビク
ビク
ドッ
ドッ
遅刻しちゃうから
も、もう一回
だけですからね！
ふふっ…
は～い♥


ついさっきまで
あんなだったのに
もういつも通りである。
さぁて…
今日もちゃっちゃと
仕事終わらせちゃい
ましょう！
今日は一段と
テンション高いですね
何かいいことでも
あったんですか？
ふふっ…まあね♪


今日は週末だし
絶対残業しないように
頑張りますから
期待してて
ください！
ガッ
…っ♥
ドキッ
頼むわよ♥
END


この度はきつね屋根の作品を
ご購入いただきありがとうございます。
この作品はフィクションです。
作品の閲覧には画像ビューア等の
ソフトをご使用ください。
この作品でお楽しみ
いただけたら幸いです。
今後ともきつね屋根の作品を
よろしくお願いします。
制作：きつね屋根
2020年11月



